



第91期 報 告 書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

SECカーボン株式会社

証券コード 5304

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により、被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は平成23年3月31日をもって、第91期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況ならびに主要事項につきまして、ご報告申し上げます。

なお、期末配当金につきましては、既にご案内申しあげましたとおり、1株につき8円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



取締役社長 **大谷民明**

経営理念

わが社は流動する変化に挑み無限の可能性を探求し業界の最高峰をめざす

1. わが社は需要家の要望に応える製品を創造する
1. わが社は社員および株主の幸福を増進する
1. わが社は社会の福祉発展に寄与する

事業の概況 （平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

(1) 事業の経過およびその成果

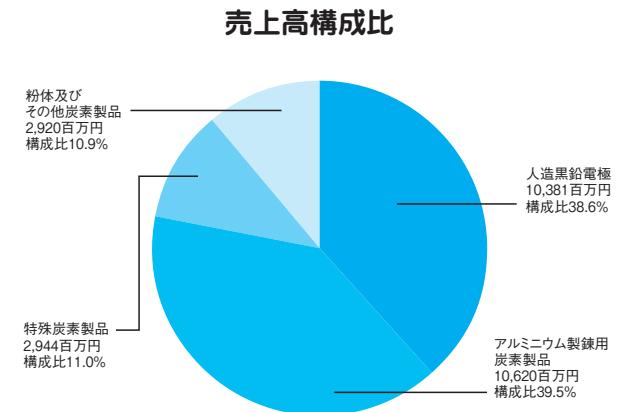
当連結会計年度におけるわが国経済は、年度当初は中国などアジアを中心とした新興市場向けの好調な輸出に支えられ緩やかな回復傾向にあったものの、夏以降の急激な円高の進行や政府の景気刺激策終了による個人消費の落ち込みなどにより、足踏み状態で推移する中、3月11日に東日本大震災が発生し、厳しい経済環境に立たされました。

このような状況の中、当社グループでは、第4次中期経営計画「チャレンジ2011」のもと拡販に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は、需要の回復に伴う主要製品の販売数量の増加と相まって268億6千7百万円と前連結会計年度比1.3%の増収となりました。

一方、損益面におきましては、コスト削減や生産性向上に努めてまいりましたものの、円高の影響を吸収しきれず、営業利益は26億4千6百万円と前連結会計年度比37.8%減益となり、経常利益と当期純利益におきましても、それぞれ27億1千2百万円（前連結会計年度比39.1%減）、16億4千8百万円（前連結会計年度比32.3%減）にとどまりました。

なお、当社グループは炭素製品の製造・販売を主な事業とする単一セグメントであります。

当連結会計年度における製品別の販売実績は次のとおりとなっております。



人造黒鉛電極 販売単価の下落と円高による目減りはありましたが、販売数量の増加により売上高は103億8千1百万円となり、前連結会計年度に比べ6.9%の増収となりました。

アルミニウム製錬用炭素製品 販売数量の減少により売上高は106億2千万円となり、前連結会計年度に比べ10.2%の減収となりました。

特殊炭素製品 自動車関連およびデジタル家電関連部材の好況により売上高は29億4千4百万円となり、前連結会計年度に比べ44.8%の増収となりました。

粉体及びその他炭素製品 リチウムイオン二次電池関連の伸び悩みにより売上高は29億2千万円となり、前連結会計年度に比べ0.9%の減収となりました。

(2) 設備投資等の状況および資金調達の状況

当連結会計年度において、当社グループは、総額98億6百万円の設備投資を実施しましたが、その主なものは、当社京都工場の大規模な増設工事に伴うものであります。

(3) 対処すべき課題

当社グループを取り巻く経営環境は、3月11日に発生した東日本大震災によるわが国の生産活動の急速な低下と需要家からの厳しい価格低減要求、一方で国際商品市況高を受けた原燃料価格の上昇など厳しい状況にあります。

このような経営環境のなか、中長期的には需要の伸びが見込まれるアルミニウム製錬用炭素製品におけるトップシェアを維持する狙いで一昨年より京都工場に建設中の新ラインはほぼ工事を終え、一部では年初から試運転を開始しております。

この設備の完成に伴い減価償却費の増高が見込まれるため、これらのコスト増加に対処することが大きな経営課題であります。これを克服し品質、価格、技術面の総合力で競合他社より優位に立つことが重要と考えます。

また、引き続きコスト削減および業務合理化の推進、そして次世代の人材育成を図ってまいります。更には、環境負荷の低減と汚染の予防等にも、積極的に取り組んでまいります。

当社グループは、企業の社会的責任を重視し、コーポレートガバナンス、法令遵守に従来にもまして努めてまいります。

そして、当社は、株主の皆様への永続的かつ安定的な利益還元を経営の最重要課題と考えておりますので、配当につきましては、各事業年度の業績を勘案しつつ、企業体質の強化のための投資等に必要な内部留保を確保しながら、できる限り安定的に実施してまいります。

トピックス

● 京都工場の増設工事が完了、竣工式が行われる

当社では中長期的に需要の伸びが見込まれるアルミニウム製錬用カソードブロック（商標名：SK-B）におけるトップシェアを維持するため、平成20年に京都工場の敷地内にSK-Bを生産するための一貫工場の増設計画を発表しました。その後、リーマン・ショックに端を発する世界景気減速懸念が高まりましたが、将来に向けたSK-Bのトップシェア維持のためのタイミングを重視し、計画通り平成21年から工事を着工いたしました。そして、このたび約150億円を投じた本増設工事が無災害で予定通り完遂し、3月3日には京都府、福知山市など関係行政、工事担当会社および地元の皆様をお招きして「竣工式」ならびに「完成祝賀会」が執り行われました。

当工場の完成により、SK-Bの生産能力は年間50%増となり、当面の需要に見合う安定した供給能力が確保できることとなります。

なお、当工場につきましては夏以降の本格稼働を目指して現在各種試運転等を行っております。



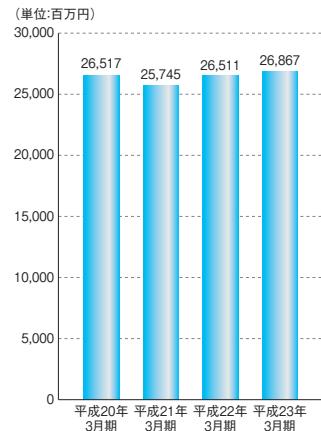
増設工事竣工記念式典の様子



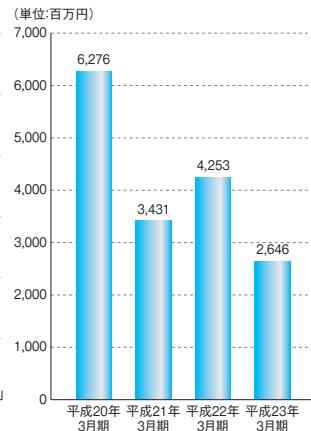
新工場の外観

当社グループの業績および財産等の状況の推移

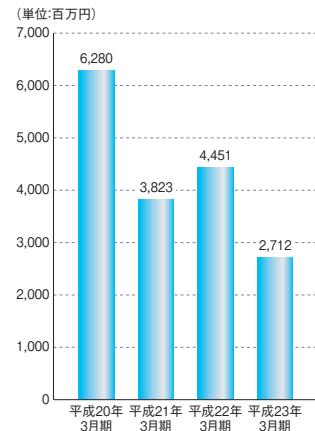
●売上高



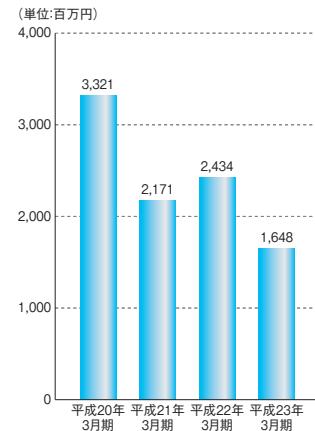
●営業利益



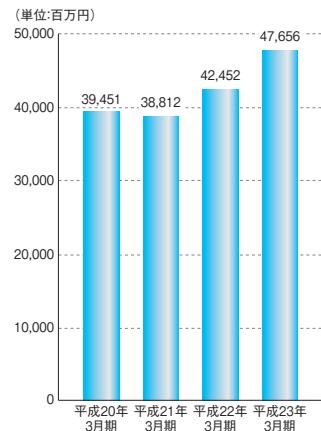
●経常利益



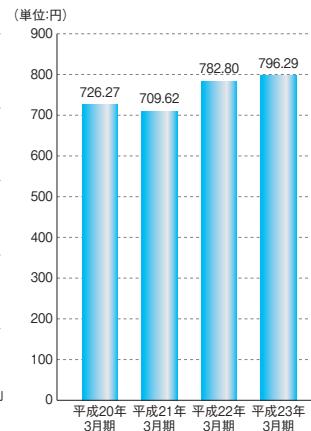
●当期純利益



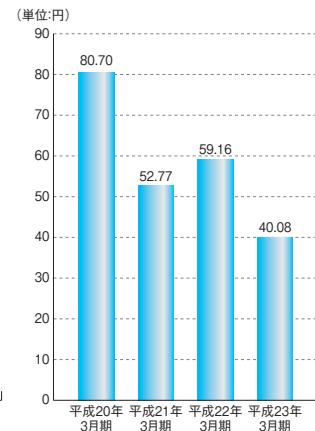
●総資産



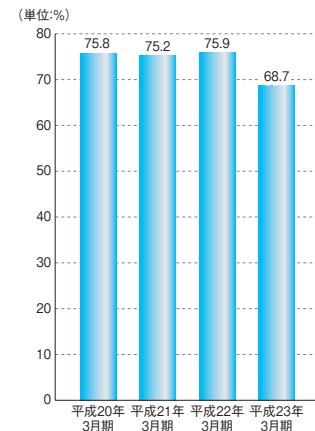
●1株当たり純資産



●1株当たり当期純利益



●自己資本比率



株式の状況 (平成23年3月31日現在)

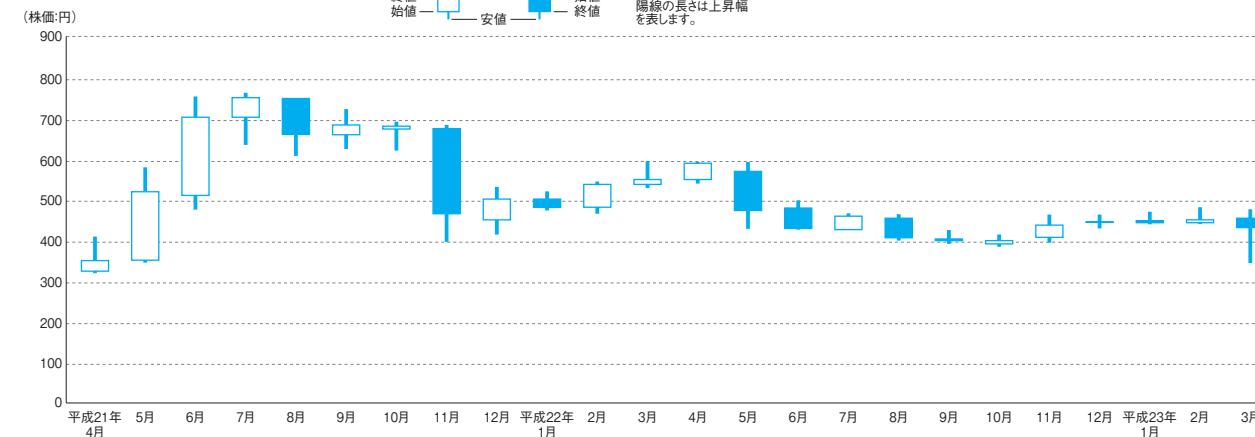
●株式

株式の種類 普通株式
 株式数 発行可能株式総数 155,708,000株
 発行済株式の総数 41,388,682株
 当期末株主数 2,669名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数
大谷製鉄株式会社	8,937 千株
三菱商事株式会社	3,922
住友商事株式会社	2,237
大谷勇	1,691
新日鉄エンジニアリング株式会社	1,672
財団法人大谷教育文化振興財団	1,659
大同生命保険株式会社	1,293
大谷民明	1,251
大谷智代	1,165
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,066

●株価の推移



連結貸借対照表

(単位：百万円)

<資産の部>	当連結会計年度	前連結会計年度(ご参考)	<負債の部>	当連結会計年度	前連結会計年度(ご参考)
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在		平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
流動資産	20,020	21,361	流動負債	7,377	7,329
現金及び預金	2,165	1,300	買掛金	2,574	2,220
受取手形及び売掛金	7,267	8,229	短期借入金	1,900	2,100
商品及び製品	1,783	2,234	リース債務	16	9
仕掛品	7,159	8,277	未払費用	438	497
原材料及び貯蔵品	1,156	1,024	未払法人税等	580	1,310
繰延税金資産	220	226	未払消費税等	1	246
その他	280	84	賞与引当金	257	260
貸倒引当金	△ 15	△ 16	設備関係未払金	1,251	237
			その他	356	446
固定資産	27,636	21,091	固定負債	7,542	2,912
有形固定資産	21,242	13,940	長期借入金	5,000	—
建物及び構築物	3,231	3,471	リース債務	22	16
機械装置及び運搬具	5,217	6,844	長期未払金	31	31
工具、器具及び備品	143	148	繰延税金負債	839	1,108
土地	1,300	1,301	退職給付引当金	1,318	1,326
リース資産	36	24	環境対策引当金	329	430
建設仮勘定	11,312	2,149	負債合計	14,919	10,242
無形固定資産	94	95	<純資産の部>		
投資その他の資産	6,300	7,055	株主資本	30,579	29,605
投資有価証券	6,087	6,830	資本金	5,913	5,913
その他	223	232	資本剰余金	5,247	5,247
貸倒引当金	△ 10	△ 7	利益剰余金	19,571	18,581
			自己株式	△ 153	△ 136
資産合計	47,656	42,452	その他の包括利益累計額	2,152	2,600
			その他の有価証券評価差額金	2,152	2,600
			少数株主持分	4	4
			純資産合計	32,737	32,210
			負債純資産合計	47,656	42,452

(注) 金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度(ご参考)
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	26,867	26,511
売上原価	20,980	19,052
売上総利益	5,887	7,458
販売費及び一般管理費	3,241	3,204
営業利益	2,646	4,253
営業外収益	272	287
営業外費用	206	90
経常利益	2,712	4,451
特別利益	99	66
特別損失	65	303
税金等調整前当期純利益	2,746	4,213
法人税、住民税及び事業税	1,054	1,846
法人税等調整額	43	△ 66
少数株主利益調整前当期純利益	1,649	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△ 0
当期純利益	1,648	2,434

(注) 金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

項目	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
平成22年3月31日残高	5,913	5,247	18,581	△136	29,605	2,600	2,600	4	32,210
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当	—	—	△658	—	△658	—	—	—	△658
当期純利益	—	—	1,648	—	1,648	—	—	—	1,648
自己株式の取得	—	—	—	△16	△16	—	—	—	△16
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△447	△447	0	△447
連結会計年度中の変動額合計	—	—	990	△16	974	△447	△447	0	526
平成23年3月31日残高	5,913	5,247	19,571	△153	30,579	2,152	2,152	4	32,737

(注) 金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度(ご参考)
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,483	4,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,878	△ 3,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,109	△ 1,568
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	123
現金及び現金同等物の増減額	805	△ 625
現金及び現金同等物の期首残高	1,300	1,925
現金及び現金同等物の期末残高	2,105	1,300

(注) 金額表示については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号	SECカーボン株式会社	取締役社長（代表取締役）	大谷民明
設立	昭和9年10月23日	常務取締役	鶴崎欣宏
資本金	5,913,872,864円（平成23年3月31日現在）	常務取締役	佐近啓一
発行済株式総数	41,388,682株（平成23年3月31日現在）	常務取締役	二宮博文
主要製品	人造黒鉛電極	取締役	吉澤潔
	アルミニウム製錬用炭素製品	取締役	衣笠博和
	特殊炭素製品	取締役	水谷知朗
ホームページ	粉体及びその他炭素製品	取締役	大谷壽一
	http://sec-carbon.com/	監査役（常勤）	岩崎正敏
		監査役（常勤）	江川和則
		監査役	岡和彦
		監査役	早崎寛

(注) 1. 取締役 大谷 壽一氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 岡 和彦氏および早崎 寛氏は、社外監査役であります。

役員（平成23年6月29日現在）

事業所

本社	〒661-0976	兵庫県尼崎市潮江一丁目2番6号 尼崎フロントビル6階 TEL(06)6491-8600
東京事務所	〒103-0027	東京都中央区日本橋二丁目15番3号 ヒューリック江戸橋ビル7階 TEL(03)3279-0700
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル8階 TEL(052)231-5765
京都工場	〒620-0853	京都府福知山市長田野町三丁目26番地 TEL(0773)27-2411
岡山工場	〒704-8147	岡山県岡山市東区正儀4700番地の2 TEL(086)946-1500

株式に関する手続きについて

1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
○ 特別口座から一般口座への振替請求 ○ 単元未満株式の買取・買増請求 ○ 住所・氏名等のご変更 ○ 特別口座の残高照会 ○ 配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00~17:00)
○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ		株主名簿管理人

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

なお、お手続き方法につきましては、上記のお問い合わせ先にお申し出ください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
○ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(平日9:00~17:00)
○ 上記以外のお手続き、ご照会等		口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

● 単元未満株式の買取・買増請求について

1単元（1,000株）に満たない株式は市場での売買ができません。当社では、単元未満株式の買取・買増制度を設けております。なお、お手続き方法につきましては、上記のお問い合わせ先にお申し出ください。

● 配当金のお受け取り方法について

配当金のお受け取りにつきましては、配当金領収証によるゆうちょ銀行または郵便局でのお受け取りと口座振込がございます。お受け取りは、安全で確実な口座振込をお勧めしております。なお、お手続き方法につきましては、上記のお問い合わせ先にお申し出ください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末 3月31日

中間 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。

証券コード 5304

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。